

授業科目 地域福祉論II

【担当教員名】 豊田保		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 地域福祉の担い手、地域福祉の実践方法、地域福祉計画について理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 地域福祉の担い手について理解する。 地域福祉実践の方法と内容について理解する。 地域福祉計画について理解する。 地域福祉の財源について理解する。 地域福祉の課題について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域福祉の主体と対象				講義による（以下、同じ）
2	地域福祉の推進主体				
3	地域福祉実践の視点				
4	地域福祉実践の方法と内容				
5	地方自治と地域福祉				
6	市町村合併と地域福祉				
7	地域福祉計画の課題				
8	地域福祉の制度				
9	地域福祉における利用者の保護				
10	地域福祉の財源				
11	地域福祉の論点				
12	地域福祉サービス供給主体の多元化				
13	これからの地域福祉活動 1				
14	これからの地域福祉活動 2				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		現代地域福祉論	藤松素子編	高菅出版	2006・2,524円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによる			【履修上の留意点】 教科書を読了すること		